

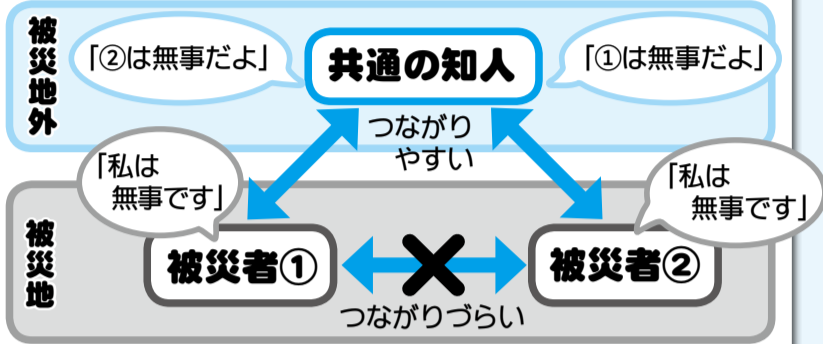
からはじめよう！ 災害への備え ③

災害発生直後は、固定電話や携帯電話がつながりにくいため、家族の無事を確認することが困難な状況となります。さらに、災害が学校の登下校時や職場の出勤時に発生すると、家族がどこにいるかさえわからないことも想定されます。今回は、いつ起こるかかわからない災害に備え、家族間で事前に話し合っておくとよい約束事について説明します。

安否確認方法を決めておきましょう

- ・災害用伝言ダイヤル（171）、災害用伝言板（web171）など
- ・メール、SNS（LINE、ツイッター）など
- ・三角連絡法

→災害時、被災していない地域に住む人を中継点にして、互いの安否を確認する方法



家族が違う場所で被災した際の集合場所を決めておきましょう

例：〇〇小学校の玄関前（集合場所の“どこに”集まるのか具体的に）

安否確認方法や集合場所を家族の「災害時の約束事」として決めておきましょう。

問い合わせ／市総務防災課防災グループ ☎23 - 6380

緊急告知防災ラジオ 難聴地域での本放送の開始について

昨年10月末から、FMラジオの難聴地域である宗谷岬及び東浦地区において「FMわっぴー」の試験放送を行っています。中継局の整備工事が完了したことにより、2月中旬頃から本放送を開始します。

本放送となっても、これまでの試験放送と同様、FMわっぴーの通常放送や緊急告知防災ラジオから災害情報を受信することができません。

ほかに宗谷支所、沼川支所でも受け取ることができません。問い合わせ／市総務防災課防災グループ ☎23 - 6380

「地域防災における意見交換会」のご案内

近年、大雨・土砂災害・地震・暴風雨など、尊い命や財産などが失われる自然災害が多く発生している状況から、全国的に地域での防災活動の取り組みが進められています。

- 日時／2月20日(水) 18時30分～20時
- 場所／総合文化センター 小ホール
- 内容／本市の防災活動の取組状況について
- ・地域での自主防災組織の活動状況について
- ・意見交換会

本市としても、地域ごとの防災活動の取り組みが進められているところで、一人ひとりの防災意識の向上を図り、更なる防災体制を強化するため、このたび、地域間での交流や各地域の防災活動の取り組みの共有を行う意見交換会を開催します。

※事前申込は必要ありません。当日会場へ直接お越しください。申し込み・問い合わせ／市総務防災課防災グループ ☎23 - 6380

2月20日(水) 11時頃 緊急告知防災ラジオが最大音量で放送されます

「全国瞬時警報システム(Jアラート)」を使用した放送訓練を2月20日に実施します。この訓練は、国からの情報が市民の皆さんに正しく伝わるかを確認するもので、本市では、緊急告知防災ラジオを通じて放送されます。

ご理解とご協力をお願いします。問い合わせ／市総務防災課 ☎23 - 6380

「全国瞬時警報システム(Jアラート)」は、地震や津波、武力攻撃などの緊急情報を国から人工衛星などを通じて市町村に瞬時に伝えるシステムです。

「寒さに負けず楽しもう！冬のイベント」

今年も、冬真っ盛りの時期を迎えました。昨年末は寒波襲来で、帰省の方々の足に、大きな影響を与えた風と雪でしたが、昨シーズンの冬とは違って変わって、年が明けてからこのところ、穏やかな天候が続いています。

2月は「稚内の冬を遊びつくせ！」をテーマにイベントが盛りだくさんに用意されていますし、また、各イベントがスタンプラリー形式になっていて、皆さんがより多くのイベント会場を訪れると、豪華景品がもらえる大抽選会にも参加できるという企画が用意されています。

北国の私たちにとって冬は友達ですし、生活の一部です。今年の冬も大いに楽しみたいと思っておりますが、皮肉なことに雪が少ないと開催が危ぶまれる屋外のイベントがあったり、屋外の冬のスポーツにも影響があります。

まだ開催までに時間がある「全国大そり稚内大会」などは市外や道外からもお出でいただけますので、この後、荒れない程度に適度に雪が降ってくれることを祈らなければと思っております。

また、今年も2月15日から1か月間、稚内副港市場の特設会場で「稚内サハリン館」が開催されますが、友好都市サハリン州ユジノサハリンスク市からおなじみのロシアアンサンブルメンバールースキー・テレーム「がやってきます。ぜひロシアの雰囲気味わってください。厳しい寒さには負けない、それが北国に暮らす私たちの合言葉です。

稚内市長 工藤 広



No.56